

令和 6 年度

業 務 年 報

広島県立総合技術研究所
西部工業技術センター

目 次

1 事業概要	1
2 事業実施体制	3
(1) 組 織	
(2) 土地・建物の現況	
(3) 職 員	
(4) 予算執行状況	
3 研究開発事業	7
(1) 研究開発	
4 技術支援事業	10
(1) 技術相談・指導	
(2) 依頼試験	
(3) 設備利用	
(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）	
(5) 現地指導	
5 技術移転事業	21
(1) 保有技術紹介セミナー	
(2) 研究成果の公表	
(3) 工業所有権	
(4) 広報活動	
6 人材育成事業	30
(1) 技術者研修	
(2) 企業等研究員受入制度	
7 産学官交流事業	33
(1) 研究会活動	
(2) 他機関との連携・支援	
8 その他	37
(1) 職員研修	
(2) 受 賞 等	
付 録	39
(1) 令和 6 年度の主な行事等	
(2) 沿 革	
(3) 令和 7 年度の職員	
(4) 広島県立総合技術研究所の組織	

1 事業概要

西部工業技術センターをはじめ、県内8センターが所属する広島県立総合技術研究所は、保健環境から工業、農林水産業まで非常に幅広い領域の技術を保有しています。その特徴を活かして、異分野や業際領域の産業が参集・協力し、県民や県内産業が新しい分野・領域にアプローチできる貢献度の高いスリムで効率的な試験研究機関を目指しています。

西部工業技術センターは、工業系の試験研究機関として、県内企業のニーズに応える研究開発と、その成果の移転促進、また、企業の課題解決に向けた技術指導、技術的課題解決支援事業、受託研究、人材育成のための技術者研修などにより、質の高い企業貢献ができるよう取り組んでいます。

（研究開発と成果移転）

産業技術の高度化や新規成長分野に対応する研究開発を進めるため、企業と連携して出口を見据えた研究開発に積極的に取り組みました。また、大学や企業と連携し、競争的研究資金の獲得による研究開発を進めました。

研究開発した成果はホームページへの掲載、企業訪問や技術セミナー等による紹介をはじめ、報道機関を通じた情報発信に努め、研究成果の県内企業移転への取組を行いました。

（技術支援と人材育成）

技術指導や依頼試験、設備利用、さらに技術的課題解決支援事業、受託研究などにより、企業からの要望に応えた積極的な技術支援への取組を行いました。

また、急激に進む技術革新、国内外との厳しい競争などへの対応のためには、優れた研究者・技術者の養成が必要であり、こうした人材育成に向け、業界ニーズに基づく技術者研修を計画・実施しました。

○ 研究開発事業

- ・ 課題解決研究は、業界全体のニーズに対応する一般型として材料製造プロセス分野1課題、個別企業のニーズに対応する共同研究型として、加工技術分野1課題、設計技術分野1課題の合計2課題を実施しました。基盤研究は、加工技術分野1課題、計測技術分野1課題、デザイン関係分野1課題の合計3課題を実施しました。DX事業では、1課題を実施しました。
- ・ 競争的外部資金等による研究開発4課題、企業や大学等との共同研究9課題、企業等からの依頼に基づく受託研究12課題を実施しました。
- ・ これらの研究成果は、保有技術紹介セミナー等で紹介するとともに、研究報告やホームページへの掲載、また、人材育成事業や研究会活動、技術相談・指導等によって、県内企業への移転・普及を図ります。

○ 技術支援事業

- ・ 企業への新技術の導入や技術力向上等を図るための技術相談・指導は、所内 5,987 件、現地等所外で 130 件実施しました。
- ・ 企業からの依頼で試験、分析、測定等を行う依頼試験は、1,238 件でした。
- ・ 企業の新製品や新技術開発等を支援するため、試験、加工、分析装置などの設備機器を開放し、5,482 件※の利用がありました。
- ・ 企業の技術課題の解決策を検討する技術的課題解決支援事業（ギカジ）は、91 件実施しました。

※ 職員による設備操作支援(1,548件)を含む。

○ 技術移転事業

- ・ センターの技術や設備機器の利活用促進を図るため、保有技術紹介セミナーを行いました。
- ・ 研究開発した成果を保護、活用するため、1 件の国内特許を出願しました。
- ・ 研究成果の普及を図るため、展示会等への出展を行うとともに、ホームページに研究報告（第 67 号）と成果概要（事業概要）を掲載しました。

○ 人材育成事業

- ・ 技術者研修として、「電気めっき勉強会」、「プラスチック材料技術者研修」、「材料理論研修」、「予実差評価研修」、「プレス研修」を実施しました。

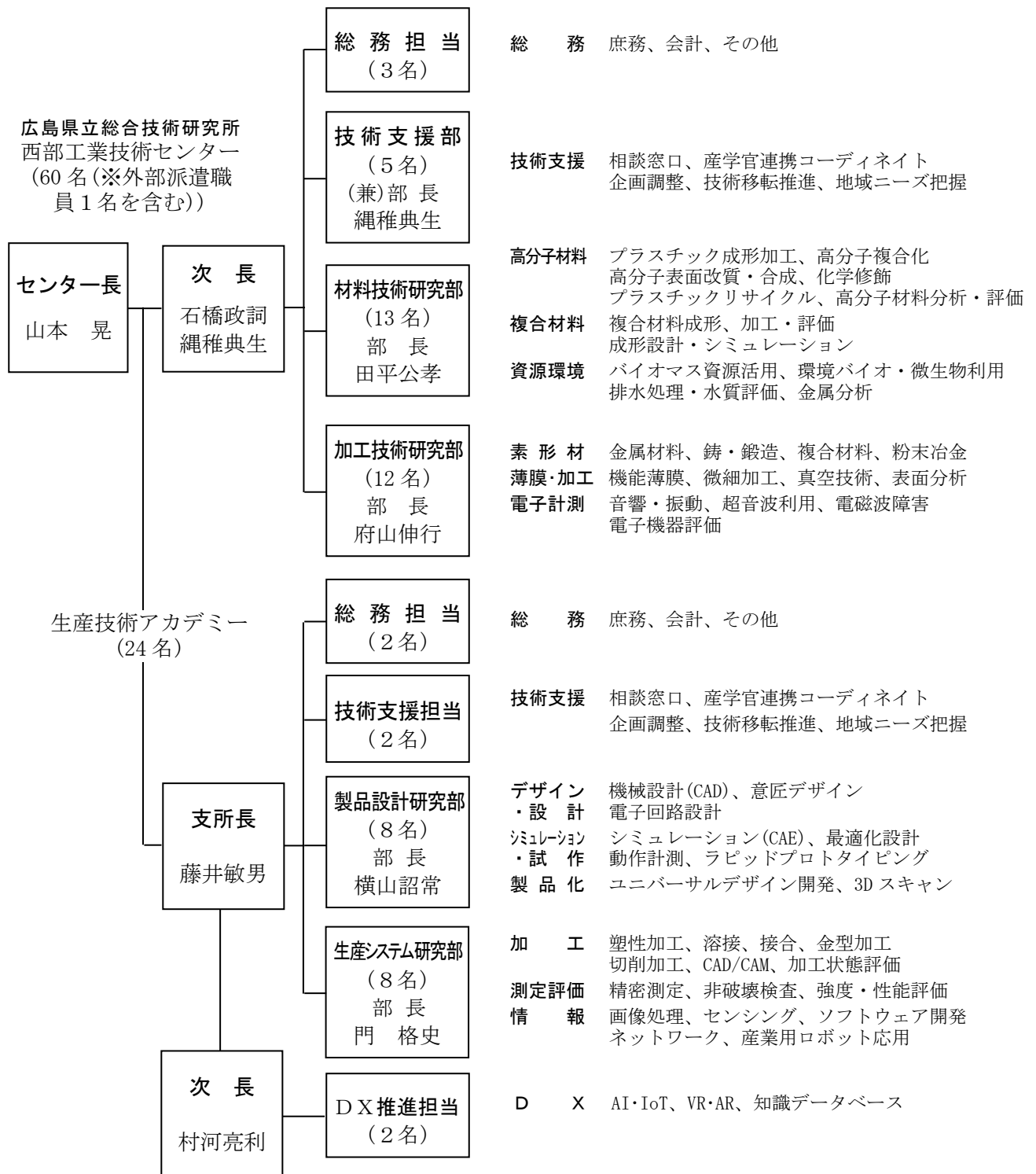
○ 産学官交流事業

- ・ 研究会活動として、広島県AI・IoT・ロボティクス活用研究会を 1 回開催しました。

2 事業実施体制

(1) 組 織

(令和6年4月1日現在)



人員 60 名 (内、企業派遣 1 名、シニアスタッフ 3 名、エルダースタッフ 2 名、
臨時的任用職員 1 名、試験研究従事員 2 名)

(2) 土地・建物の現況

(本 所) 敷 地 : 18,457.94 m² 建 物 : 10,457.75 m²

名 称	構 造	年月日	建築面積(m ²)	延面積(m ²)
本 館 (ポンプ室含む)	鉄筋コンクリート造り4階	H5. 4. 1	2,316.00	7,068.92
第 一 実 験 棟 (渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造り2階	〃	726.05	1,353.20
第 二 実 験 棟	鉄筋コンクリート造り2階	〃	949.05	1,925.25
音 響 棟	鉄筋コンクリート造り平屋建て	〃	110.52	110.38

(生産技術アカデミー)

名 称	場 所	年月日	室面積 (m ²)
生産技術アカデミー (実験棟含む)	(株)広島テクノプラザ内	H13. 4. 1	2,320.73

(3) 職 員

① 現員の状況

(令和6年4月1日現在)

区 分		センター長	次長	支所長	部長	総括研究員	担当部長	副部長	主任研究員	研究員	主幹	主査	主任	主事	試験研究従事員	計
現 員		1	3	1	4	1	5	5	19	13	1	2	2	1	2	60
本 所		1	2							1						4
	総 務 担 当										1	1	1			3
	技 術 支 援 部				(1)		1		2					1		4
	材料技術研究部				1	1		2	4	4					1	13
	加工技術研究部				1		1	1	5	3					1	12
生産技術アカデミー			1	1												2
	総 務 担 当											1	1			2
	技 術 支 援 担 当						1		1							2
	製品設計研究部				1		1	1	3	2						8
	生産システム研究部				1			1	3	3						8
	D X 推 進 担 当						1		1							2

()内は兼務

② 職 員

(令和6年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	石 橋 政 詞
	次 長	縄 稚 典 生
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主査(シニアスタッフ)	横 手 克 尚
	主任(エルダースタッフ)	北 野 智 之
技術支援部	(兼)部 長	縄 稚 典 生
	担当部長(営業担当)	池 田 裕 朗
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	井 鷲 洋 介
	主事(臨時的任用)	江 崎 万 紀 子
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	総 括 研 究 員	本 多 正 英
	副 部 長	松 永 尚 徳
	副 部 長	小 島 洋 治
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	宗 綱 洋 人
	主 任 研 究 員	西 田 裕 紀
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研 究 員	貞 井 俊 平
	研究員(エルダースタッフ)	下 原 伊 智 朗
加工技術研究部	部 長	府 山 伸 行
	担 当 部 長	長 谷 川 浩 治
	副 部 長	寺 山 朗
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	棗 田 洋 平
	主 任 研 究 員	久 保 雅 之
	主 任 研 究 員	長 岡 孝
	主任研究員(シニアスタッフ)	樋 口 浩 一
	研 究 員	藤 本 直 也
	研 究 員	尾 津 俊 介
	研 究 員	内 山 陽 介
	試験研究従事員	筒 本 隆 博

(生産技術アカデミー)

所属	職 名	氏 名
	支 所 長	藤 井 敏 男
	次 長	村 河 亮 利
総務担当	主 査	戸 馬 田 晴 之
	主任(エルダースタッフ)	永 末 浩 二
技術支援担当	担当部長(営業担当)	宮 野 忠 文
	主 任 研 究 員	友 國 慶 子
製品設計研究部	部 長	横 山 詔 常
	担 当 部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	主任研究員(シニアスタッフ)	佐 野 誠
	研 究 員	兵 藤 一 志
	研 究 員	富 田 佳 央
生産システム研究部	部 長	門 格 史
	副 部 長	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	間 山 清 和
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	小 玉 龍
	研 究 員	石 田 大 騎
	研 究 員	久 保 田 将 矢
	研 究 員	坂 本 一 真
DX推進担当	担 当 部 長	佐 々 木 憲 吾
	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一

(企業派遣)

－	研 究 員	姫 宮 一 輝
---	-------	---------

人員 60 名 (内、企業派遣 1 名、シニアスタッフ 3 名、エルダースタッフ 2 名、臨時的任用職員 1 名、試験研究従事員 2 名)

(4) 予算執行状況

① 歳 入

(単位：千円)

科 目	令和5年度	令和6年度
使用料及び手数料	19,821 (25,802)	21,881 (25,016)
使 用 料	10,618 (16,598)	13,810 (16,945)
手 数 料	9,204	8,071
諸 収 入	25,286	20,233
受 託 事 業 収 入 試験研究受託金	14,992	12,920
受 託 事 業 収 入 技術的課題解決支援事業受託金	8,611	6,013
雑 入 弁 償 金	90	0
雑 入 雑 収 入	1,593	1,301
財 産 収 入	—	
物 品 売 払 収 入	—	
合 計	45,107 (51,088)	42,114 (45,249)

- 注) ・()内は、ひろしま産学共同研究拠点の使用料・手数料を含む。
 ・令和6年度から現地指導料は雑入弁償金から雑入雑収入に変更
 ・金額は表示単位未満四捨五入のため、合計金額と一致しないことがある。

② 歳 出

(単位：千円)

科 目	令和5年度	令和6年度
総 務 費 企 画 費 研 究 開 発 費	193,920	156,826

3 研究開発事業

(1) 研究開発

課題解決研究は、一般型として材料製造プロセス分野 1 課題、共同研究型として加工技術分野 1 課題、設計技術分野 1 課題の合計 2 課題を実施しました。基盤研究は、加工技術分野 1 課題、計測技術分野 1 課題、デザイン関係分野 1 課題の合計 3 課題を実施しました。D X 事業では、1 課題を実施しました。

また、競争的外部資金等による研究を 4 課題、企業や大学等との共同研究 9 課題、企業等からの依頼に基づく受託研究 12 課題を実施しました。

① 課題解決研究（一般型）（1 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
材料製造プロセス	デジタルものづくりによる不良レス 射出成形技術の開発	R4～R6	材 料 技 術 研 究 部 加 工 技 術 研 究 部 生産システム研究部

② 課題解決研究（共同研究型）（2 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
加 工 技 術	鋳造企業におけるデジタル技術 高度化に向けた取組 ～鋳造 CAE の解析精度向上のための パラメータのデータベース構築～	R6	加 工 技 術 研 究 部
設 計 技 術	屋外に設置する薄板構造物の 強度解析技術の開発	R6	製 品 設 計 研 究 部 加 工 技 術 研 究 部

③ 基盤研究（所長枠）（3 課題）

技術分野	研 究 課 題	研究期間 (年 度)	担 当 部
加 工 技 術	鋳造企業におけるデジタル技術 高度化に向けた取組 ～鋳造 CAE 高精度化を目的とした入力 パラメータの有効性検証～	R6	加 工 技 術 研 究 部
計 測 技 術	次世代自動車開発を支援するための 断熱性能及び電磁波遮蔽性能の評価 技術の構築	R6	加 工 技 術 研 究 部 生産システム研究部
デ ザ イ ン	高精度 3D-CG 試作検証のための パラメータの開発	R6	製 品 設 計 研 究 部

④ D X事業（1 課題）

技術分野	研 究 課 題	期間	担当部
D X	事業者支援のためのD X基盤技術の構築	R5～R7	D X 推 進 担 当 製 品 設 計 研 究 部 生産システム研究部

⑤ 競争的外部資金等研究（4 課題）

事 業 名	研 究 課 題	研 究 概 要	期間	担当部
NEDO 海 洋 生分解性プ ラスチック の社会実装 に向けた技 術開発事業	生分解性試料の 実海域浸漬試験 の実施とその生 分解及び物性評 価試験	海洋生分解性プラスチックの開発、市場導入を 促進するため、海洋生分解メカニズムに裏付け され、ISO 国際標準化を視野に入れた生分解性 評価手法開発の研究開発項目「海洋生分解性 に係る評価手法の確立」において、実海域で実 際に試料を浸漬させる実環境試験を行い、この 簡易実環境試験方法の確立とともに、ラボ試験 からの実環境生分解予測の各種因子抽出を行いま す。	R2 ～R6	材料技術 研究部
成長型中小 企業等研究 開発支援事 業	光改質により強 固なガラス化層 を有するポリカ ーボネート樹脂 製透明材料の開 発	軽量でデザイン性に優れるポリカーボネート （P C）樹脂製の窓は強化ガラスに代わる次世 代自動車用窓素材として期待されているが、現 在実施されているハードコート表面処理による 耐久性の向上は自動車用途での要求レベルには 達していない。本研究開発では、独自技術であ るポリシラザンと光改質技術を用いてハードコ ート層の最表面に緻密なガラス層を形成するこ とで「超耐久性」を有した自動車用樹脂窓の開 発を目指す。	R4 ～R6	材料技術 研究部
新たな価値 づくり研究 開発支援補 助金	金属加熱工程の 大幅な省エネル ギー化を実現可 能な磁気加熱式 金属加熱技術 を用いたアルミ ダイカスト向け オンデマンド溶 解装置の開発	アルミダイカスト向けオンデマンド溶解装置の 開発において、ホルダが要求される強度を有して いることを実証する。また、加熱状況を把握する ためにホルダ内のアルミ温度を測定し、従来溶解 装置同等以上の溶湯品質を満足する加熱条件を決定 する。	R6	加工技術 研究部
中小・ベン チャー企業 チャレンジ 応援助成金	自動牡蠣打ちシ ステムの試作機 開発における機 構及び制御手法 の最適化検討	試作機のむき身処理成功率向上にむけた各機構 の形状及び機能、PLC を用いた制御手法の最適化を 行う。また、研究期間終了後に委託者の社員による 試作機の改良が実施可能になるよう、最適化した 技術の技術移転を行う。	R6	技術支援 担当 製品設計 研究部

⑥ 共同研究（9 課題）

（共同研究先別課題数）

共同研究先	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
企 業 等	2 (1)	1 (2)	2	1	6 (3)	66.7
大 学 等	1			1	2	22.2
国 研 究 機 関	1				1	11.1
合 計	4 (1)	1 (2)	2	2	9 (3)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

⑦ 受託研究（12 課題）

（委託者の業種別課題数）

業 種 No.	委託者の業種	材料技術 研究部	加工技術 研究部	製品設計 研究部	生産システム 研究部	合 計	比 率 (%)
7	化 学 工 業			1 (1)		1 (1)	8.3
9	プラスチック製品製造業	2				2	16.7
15	はん用・生産用・業務用機 械 器 具 製 造 業		2			2	16.7
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業			1 (1)		1 (1)	8.3
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	3	3			6	50.0
30	そ の 他					0	0.0
合 計		5	5	2 (2)	0	12 (2)	100.0

※) ()付きは、他部課題への支援件数

4 技術支援事業

(1) 技術相談・指導

① 業種別件数

業種 No.	業 種	所内指導				現地指導			
		令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度	
		件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)	件数 (件)	比率 (%)
1	食 料 品 製 造 業	65	1.2	55	0.9	1	0.9	2	1.5
2	繊 維 工 業	68	1.3	86	1.4	3	2.8		0.0
3	木材・木製品製造業	93	1.7	81	1.4	1	0.9		0.0
4	家具・装備品製造業	50	0.9	20	0.3	1	0.9	4	3.1
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	17	0.3	9	0.2		—		—
6	印 刷 ・ 同 関 連 業	32	0.6	87	1.5		—		—
7	化 学 工 業	268	5.0	184	3.1	6	5.7	2	1.5
8	石油製品・石炭製品製造業	3	0.1	12	0.2		—		—
9	プラスチック製品製造業	694	13.0	776	13.0	7	6.6	6	4.6
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	18	0.3	17	0.3		—		—
11	窯業・土石製品製造業	19	0.4	61	1.0		—		—
12	鉄 鋼 業	62	1.2	99	1.7		—	14	10.8
13	非 鉄 金 属 製 造 業	81	1.5	155	2.6	1	0.9	6	4.6
14	金 属 製 品 製 造 業	601	11.2	567	9.5	2	1.9	17	13.1
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	1,012	18.9	1,213	20.3	9	8.5	29	22.3
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業	93	1.7	229	3.8	3	2.8	3	2.3
17	電気機械器具製造業	164	3.1	203	3.4	5	4.7		—
18	情報通信機械器具製造業	41	0.8	31	0.5	4	3.8		—
19	輸送用機械器具製造業	483	9.0	612	10.2	4	3.8	9	6.9
20	そ の 他 の 製 造 業	361	6.7	191	3.2	1	0.9	6	4.6
21	農 業 、 林 業 、 漁 業	43	0.8	1	0.0	13	12.3	1	0.8
22	鉱業、砕石業、砂利採取業	21	0.4	53	0.9		—		—
23	建 設 業	22	0.4	48	0.8	4	3.8	1	0.8
24	電気・ガス・熱供給・水道業	12	0.2	2	0.0		—		—
25	情 報 通 信 業	3	0.1	7	0.1		—		—
26	運 輸 業 、 郵 便 業		—	1	0.0		—		—
27	卸 売 業 、 小 売 業	91	1.7	103	1.7	4	3.8		—
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	814	15.2	699	11.7	30	28.3	10	7.7
29	医 療 、 福 祉	52	1.0	41	0.7	2	1.9	3	2.3
30	そ の 他	66	1.2	344	5.7	5	4.7	17	13.1
合 計		5,349	100.0	5,987	100.0	106	100.0	130	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		所内指導				現地指導			
			令和 5 年度		令和 6 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広 島 市		1, 194	22. 3	1, 470	24. 6	1	0. 9	47	36. 2
2	呉 市		1, 274	23. 8	1, 389	23. 2		—	19	14. 6
3	竹 原 市		59	1. 1	48	0. 8		—		—
4	三 原 市		79	1. 5	139	2. 3	15	14. 2		—
5	尾 道 市		28	0. 5	30	0. 5		—	1	0. 8
6	福 山 市		182	3. 4	189	3. 2	2	1. 9	14	10. 8
7	府 中 市		33	0. 6	18	0. 3	1	0. 9		—
8	三 次 市		42	0. 8	14	0. 2	1	0. 9		—
9	庄 原 市		78	1. 5	83	1. 4		—		—
10	大 竹 市		40	0. 7	61	1. 0	5	4. 7		—
11	東 広 島 市		957	17. 9	1, 090	18. 2	15	14. 2	20	15. 4
12	廿 日 市 市		95	1. 8	72	1. 2		—	2	1. 5
13	安 芸 高 田 市		65	1. 2	91	1. 5	2	1. 9	3	2. 3
14	江 田 島 市		7	0. 1	10	0. 2		—		—
15	府 中 町		197	3. 7	91	1. 5		—	5	3. 8
16	海 田 町		98	1. 8	130	2. 2		—	3	2. 3
17	熊 野 町		28	0. 5	48	0. 8	2	1. 9	1	0. 8
18	坂 町		9	0. 2	28	0. 5		—		—
19	安 芸 太 田 町			—	2	0. 0		—		—
20	北 広 島 町		22	0. 4	20	0. 3		—		—
21	大 崎 上 島 町			—	0	—	14	13. 2		—
22	世 羅 町			—	0	—		—		—
23	神 石 高 原 町			—	0	—	2	1. 9		—
24	県 外	山 口 県	24	0. 4	35	0. 6		—		—
25		岡 山 県	112	2. 1	34	0. 6	7	6. 6		—
26		島 根 県	9	0. 2	22	0. 4	3	2. 8		—
27		鳥 取 県		—	6	0. 1		—		—
28		その他都道府県	717	13. 4	867	14. 5	36	34. 0	15	11. 5
合 計			5, 349	100. 0	5, 987	100. 0	106	100. 0	130	100. 0

(2) 依頼試験

① 試験項目別件数

分類	試験項目	コード	令和5年度		令和6年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 試験及び測定	1 材料試験	B	521	33.9	205	16.6
	2 機械器具等の試験	C	16	1.0	2	0.2
	3 ひずみ測定	D		—		—
	4 騒音及び振動測定	E		—		—
	5 化学試験	F		—		—
	6 腐食耐候性試験	G	37	2.4	65	5.3
	7 めっき、塗膜等の被膜試験	H	3	0.2	1	0.1
	8 高分子材料試験	I	713	46.3	761	61.5
	9 測定	J	22	1.4	28	2.3
二 検査及び分析	1 一般定性分析	K		—		—
	2 一般定量分析	L	36	2.3	59	4.8
	3 特殊定性分析及び特殊定量分析	M	124	8.1	56	4.5
	4 工業用水及び工場排水検査	N		—		—
三 写真		O P Q R	22	1.4	10	0.8
四 試作		S		—		—
共通	一 成績書及び証明	T U		—	1	0.1
	二 他の項に定めのない試験等	V		—		—
	三 前処理及び試料調整 四 設備利用において職員が行う機器操作	W X	45	2.9	50	4.0
合 計			1,539	100.0	1,238	100.0

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広島市		243	15.8	198	16.0
2	呉市		521	33.9	260	21.0
3	竹原市			—		—
4	三原市			—	8	0.6
5	尾道市			—		—
6	福山市		3	0.2	68	5.5
7	府中市		210	13.6		—
8	三次市		13	0.8		—
9	庄原市		36	2.3	172	13.9
10	大竹市			—		—
11	東広島市		182	11.8	153	12.4
12	廿日市市		2	0.1	8	0.6
13	安芸高田市		6	0.4	77	6.2
14	江田島市			—	1	0.1
15	府中町		2	0.1		—
16	海田町			—		—
17	熊野町		5	0.3		—
18	坂町			—		—
19	安芸太田町			—		—
20	北広島町		42	2.7		—
21	大崎上島町			—		—
22	世羅町			—		—
23	神石高原町			—		—
24	県外	山口県		—		—
25		岡山県	13	0.8	1	0.1
26		島根県		—		—
27		鳥取県		—		—
28		その他都道府県	261	17.0	292	23.6
合 計			1,539	100.0	1,238	100.0

(3) 設備利用

① 設備別件数

分類	コード	設 備 名	令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測 定 機 器 ・ 試 験 機 器 及 び 分 析 機 器	A001	万能試験機(一)10 トン	137	2.9	214	4.2
	A002	万能試験機(二)25 トン	132	2.8	93	1.8
	A003	万能試験機(三)50 トン	36	0.8	52	1.0
	A004	万能試験機(四)100 トン	73	1.5	30	0.6
	A005	流れ試験機	4	0.1	12	0.2
	A007	サーボパルサー	145	3.0	91	1.8
	A008	ICP 発光分光分析装置	135	2.8	76	1.5
	A010	恒温恒湿室	31	0.6	111	2.2
	A011	実体顕微鏡	2	0.0	4	0.1
	A012	透過型微分干渉顕微鏡		—		—
	A019	ひずみ計		—		—
	A021	走査型電子顕微鏡(日本電子 JSM-6510A)	497	10.4	496	9.8
	A022	蒸着装置	4	0.1	4	0.1
	A023	恒温恒湿器(300L)	44	0.9	82	1.6
	A024	振動試験機	132	2.8	151	3.0
	A025	防振台		—		—
	A026	自動ヒートディストーションテスト	35	0.7		—
	A027	複合材料カッティングマシン	28	0.6	20	0.4
	A028	粒度分布測定装置	31	0.6	25	0.5
	A029	硬さ計	23	0.5	50	1.0
	A030	粉碎機	8	0.2		—
	A031	回流水槽		—		—
	A032	二軸押出成形機	509	10.6	245	4.8
	A033	射出成形機	127	2.7	147	2.9
	A034	熱伝導率計	24	0.5	6	0.1
	A036	示差熱分析装置	32	0.7		—
	A037	熱膨張測定装置	144	3.0	13	0.3
	A039	AE 付密着性試験機		—		—
	A040	イオンクロマトグラフ分析装置	49	1.0	5	0.1
	A042	光学顕微鏡	24	0.5	32	0.6
	A043	試料切断機	10	0.2	13	0.3
	A044	試料研磨機	37	0.8	58	1.1
	A045	非接触三次元測定装置		—		—
	A052	ラピッドプロトタイピング装置(一)熱溶解積層		—		—
	A055	プラズマエッチング装置	6	0.1		—
	A056	マスクアライメントシステム		—		—
	A057	エリプソメータ	6	0.1	8	0.2
	A058	音響計測装置	26	0.5	70	1.4
	A059	X 線分析顕微鏡		—		—

分類	コード	設 備 名	令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・試験機器及び分析機器	A060	万能塑性加工機		—		—
	A061	X 線 CT 検査装置		—		—
	A062	赤外線熱画像処理装置	3	0.1		—
	A063	X 線応力測定装置	18	0.4	30	0.6
	A064	計測データ記録装置		—		—
	A065	三次元測定機	2	0.0	20	0.4
	A066	自動万能薄板試験機	20	0.4	12	0.2
	A067	高周波加熱装置		—		—
	A068	デジタルマイクロスコープ	65	1.4	20	0.4
	A069	表面粗さ測定機	7	0.1		—
	A070	走査型電子顕微鏡(平成 13 年製)		—		—
	A071	引張試験機	39	0.8	30	0.6
	A073	やすり切削性能試験機	9	0.2	15	0.3
	A074	摩擦磨耗試験機	11	0.2	12	0.2
	A075	床衝撃音レベル測定装置		—		—
	A076	高速液体クロマトグラフ質量分析装置		—		—
	A077	表面抵抗計	7	0.1	6	0.1
	A078	放電焼結装置		—		—
	A080	非接触振動計(レーザドップラ振動計)		—		0.0
	A081	赤外分光分析装置	170	3.5	229	4.5
	A082	アイゾット衝撃試験装置	19	0.4	4	0.1
	A083	蛍光 X 線装置	102	2.1	139	2.7
	A084	カッティングプロッタ		—		—
	A085	ネットワーク/インピーダンスアナライザ		—		—
	A086	耐圧試験機		—	37	0.7
	A087	絶縁抵抗計	12	0.3	2	0.0
	A090	投影機	11	0.2		—
	A091	プロトコルアナライザ		—		—
	A092	デジタルオシロ		—		—
	A095	ガスクロマトグラフ質量分析装置	18	0.4		—
	A096	電気炉	33	0.7	118	2.3
	A097	高周波溶解炉		—		—
	A098	ホットプレス		—		—
	A128	シャルピー式衝撃試験装置		—		—
	A129	キャス試験機	24	0.5	41	0.8
	A130	めっき膜厚計(電磁式)		—	2	0.0
	A132	めっき膜厚計(電解式)	46	1.0	32	0.6
	A133	イメージ分光システム	5	0.1		—
	A134	高速高精細カメラシステム		—		—
	A135	サーベイメータ		—		—
	A137	複合サイクル試験機	114	2.4	174	3.4

分類	コード	設 備 名	令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 測定機器・試験機器及び分析機器	A138	小型射出成型機		—		—
	A139	小型押出機		—	20	0.4
	A140	落錘衝撃試験機		—		—
	A141	大型高速衝撃圧縮試験機	482	10.1	481	9.5
	A142	ハイスピードカメラ	120	2.5	174	3.4
	A143	超音波顕微鏡	59	1.2	30	0.6
	A144	光学式動作解析装置	5	0.1	1	0.0
	A145	アーム型三次元形状測定装置		—		—
	A146	生体信号計測装置	10	0.2		—
	A147	恒温恒湿器(460L)	18	0.4	16	0.3
	A148	レーザー超音波可視化装置		—		—
	A151	微小圧縮試験機		—		—
	A152	屈折率計	4	0.1	11	0.2
	A153	粒度分布測定装置(光散乱式)	4	0.1	39	0.8
	A154	分光光度計	58	1.2	46	0.9
	A155	粘度計	5	0.1		—
	A156	X線回折装置	38	0.8	82	1.6
	A157	比表面積測定装置	50	1.0	30	0.6
	A158	レーザードップラー振動計	30	0.6	30	0.6
	A159	音響インテンシティ計測システム		—		—
	A160	振動音響解析ソフト		—		—
	A161	高周波計測システム		—		—
	A162	TOC 計	9	0.2		—
	A163	全焦点三次元測定装置	68	1.4	97	1.9
	A164	恒温恒湿器(20L)		—		—
	A165	恒温恒湿器(800L)	87	1.8	144	2.8
	A166	大型恒温槽	9	0.2	8	0.2
	A167	恒温槽	3	0.1	12	0.2
	A168	天びん	4	0.1	7	0.1
	A172	摩擦摩耗試験機(平面往復式)	34	0.7	129	2.5
	A173	万能試験機(一)1トン	—	—	9	0.2
二 加工機器	A099	普通旋盤	32	0.7		—
	A100	フライス盤	25	0.5		—
	A101	ボール盤	2	0.0	9	0.2
	A102	高速帯のこ盤	32	0.7		—
	A104	折曲機	2	0.0	14	0.3
	A106	交流アーク溶接機		—		—
	A109	マシニングセンター		—		—
	A110	スクイズキャストマシン	40	0.8		—
	A112	スパッタリング装置		—	14	0.3
	A114	CVD 装置		—		—

分類	コード	設 備 名	令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
二 加工 機器	A117	プレス(加熱型)	34	0.7	50	1.0
	A118	高速マシニングセンター		—		—
	A119	複合 NC 旋盤		—		—
	A120	NC フライス盤		—	1	0.0
	A122	溶接ロボット		—		—
	A124	卓上加工機		—		—
	A169	産業用ロボット(20kg 可搬 7 軸)		—		—
	A227	CFRP オートクレーブ(大型)	21	0.4	197	3.9
	A228	CFRP オートクレーブ(小型)	63	1.3	115	2.3
	A229	5 軸マシニングセンター		—		—
	A231	CFRP 用プレス	104	2.2	104	2.0
	A232	CFRP 用金型加熱装置	22	0.5	33	0.6
	A233	ファイバーレーザ加工システム	—	—		—
	A233	ファイバーレーザ加工システム	—	—		—
三 試験 室	A125	無響室	32	0.7	54	1.1
	A126	シールドルーム	54	1.1	33	0.6
	A127	残響室	3	0.1	26	0.5
		職員による前・後処理		—	32	0.6
小 計			4,789	100.0	5,079	100.0

(ひろしま産学共同研究拠点)

分類	コード	設 備 名	令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
一 分析 機械	A506	ナノフォーカス X 線 CT	268	38.7	22	5.5
	A507	電界放射走査電子顕微鏡	24	3.5	67	16.6
	A508	電界放射走査電子顕微鏡(付属ナノメカニカル装置使用)		—		—
	A509	集束イオンビーム源付電界放射走査電子顕微鏡	243	35.1	136	33.7
	A501	透過型電子顕微鏡	64	9.2	69	17.1
	A502	顕微鏡試料作成装置		—		—
	A503	ウルトラミクロトーム		—		—
	A504	透過型電子顕微鏡関連機器	7	1.0	7	1.7
	A505	光電子分光装置関連機器		—		—
	A505	光電子分光装置関連機器		—		—
二 測定 機械	A510	音響透過損失測定装置	21	3.0	18	4.5
	A511	残響室法吸音率測定装置	31	4.5	58	14.4
	A521	光電子分光装置	34	4.9	26	6.5
		職員による前・後処理		—		—
小 計			692	100.0	403	100.0

年 度	令和 5 年度	令和 6 年度
合 計 件 数 (件)	5,481 (うち職員操作支援： 1,639 件)	5,482 (うち職員操作支援： 1,548 件)

② 地域別件数

地域 No.	地 域		令和 5 年度		令和 6 年度	
			件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	広	島 市	1,129	20.6	1,277	23.3
2	呉	市	814	14.9	1,051	19.2
3	竹	原 市	67	1.2	125	2.3
4	三	原 市	69	1.3	433	7.9
5	尾	道 市	13	0.2	45	0.8
6	福	山 市	190	3.5	191	3.5
7	府	中 市	14	0.3	20	0.4
8	三	次 市	55	1.0	12	0.2
9	庄	原 市	61	1.1	96	1.8
10	大	竹 市	83	1.5	201	3.7
11	東	広 島 市	876	16.0	1,039	19.0
12	廿	日 市 市	78	1.4	49	0.9
13	安	芸 高 田 市	112	2.0	69	1.3
14	江	田 島 市	3	0.1	9	0.2
15	府	中 町	271	4.9	38	0.7
16	海	田 町	70	1.3	75	1.4
17	熊	野 町	10	0.2	28	0.5
18	坂	町	13	0.2	81	1.5
19	安	芸 太 田 町		—		—
20	北	広 島 町	6	0.1	6	0.1
21	大	崎 上 島 町		—		—
22	世	羅 町		—		—
23	神	石 高 原 町		—		—
24	県 外	山 口 県	18	0.3	146	2.7
25		岡 山 県	345	6.3	31	0.6
26		島 根 県	19	0.3	14	0.3
27		鳥 取 県		—		—
28		その他都道府県	1,165	21.3	446	8.1
合 計			5,481	100.0	5,482	100.0

注) ひろしま産学共同研究拠点利用分を含む。

③ 機器整備

(平成 27 年度以降設置備品【取得金額 300 万円以上】)

名 称	メーカー・型式	使用目的	取得 年度	設置場所	備考
示差走査熱分析装置	株式会社リガク DSCvesta2	熱流の測定	R6	高分子物性試験室	JKA 補助金
ファイバーレーザー加工システム	マツモト機械(株) FLWC-D (IPG フォトニクスジャパン(株) YLR-3000 他)	レーザー溶接・切断	R5	Y A G レーザ加工室※	JKA 補助金
溶接可視化撮影用ハイスピードカメラシステム	(株)ナックイメージテクノロジー MEMRECAM MX 他	溶接時の溶融池観察および溶接電流測定	R5	NC 加工室	
蛍光 X 線分析装置	(株) リガク ZSX primus IV	未知試料の成分分析	R3	電子顕微鏡室	JKA 補助金
電動式射出成形機	(株)日本製鋼所 J80ADS-110U	樹脂製品の成形	R2	先端複合材料開放試験室	JKA 補助金
ハンディタイプ非接触三次元形状・外観測定装置	CREAFORM 社 Go! SCAN SPARK	持ち運び使用可能で高速・高精度の三次元形状測定	R2	モデル試作室※	
非接触 3 D 表面形状測定装置	ブルカーアリコナ社 インフィニートフォーカス	非接触で測定物形状を多点かつ高精度測定	R1	精密測定室※	JKA 補助金
自動ボンベ熱量計	小川サンプリング(株) O. S. K100-5	総発熱量の測定	R1	有機化学試験室	
粒度分布測定器	ベックマン・コールター(株) 型式: LS 13 320 シリーズ (超音波キット含む)	金属等の粒径及び頻度の測定	R1	材料物性試験室	
伸び計 (高温引張試験用)	(株)島津製作所 高温引張試験用伸び計	試験片の評点間伸びを測定	R1	プラスチック材料試験室	
赤外分光分析装置	日本分光(株) FT/IR-6600、IRT-7200	有機物の微小領域の分析	H29	赤外分光分析室	JKA 補助金
万能試験機	(株)島津製作所 AG-10KNXplus	温度を変えた精密万能試験	H29	プラスチック材料開放試験室	
光ファイバー温度計	JFE プラントエンジニア FIMTHERM-H	高速な温度測定	H28	材料物性試験室	JKA 補助金
レーザー超音波可視化検査装置	つくばテクノロジー(株) LUVI-CP1	各種材料の欠陥検査	H27	非破壊検査室	地域オープンイノベーション促進事業
恒温恒湿室	エスベック(株) TBE-3EW6P2T	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	環境試験室	JKA 補助金
恒温恒湿器(460L)	楠本化成(株) HIFLEX NEO FX-420N	耐熱性試験、耐湿試験等	H27	機械工作室	
パソコン用ソフト	ラティス・テクノロジー(株) Vmech 他	ロボット用CAD及びシミュレータ	H27	NC 加工室※	

※ 生産技術アカデミー

(4) 技術的課題解決支援事業（ギカジ）

（業種別件数）

業種 No.	業 種	令和5年度		令和6年度	
		件数(件)	比率(%)	件数(件)	比率(%)
1	食 料 品 製 造 業		—		—
2	織 維 工 業	1	1.1	1	1.1
3	木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	5	5.3	3	3.3
4	家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	2	2.1	1	1.1
7	化 学 工 業	2	2.1	3	3.3
9	プラスチック製品製造業	10	10.5	6	6.6
10	ゴ ム 製 品 製 造 業	2	2.1	2	2.2
11	窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	1	1.1	1	1.1
12	鉄 鋼 業	1	1.1		—
13	非 鉄 金 属 製 造 業	3	3.2	6	6.6
14	金 属 製 品 製 造 業	8	8.4	6	6.6
15	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	21	22.1	32	35.2
16	電子部品・デバイス・電子回路製造業		—		—
17	電 気 機 械 器 具 製 造 業	2	2.1		—
18	情報通信機械器具製造業		—	1	1.1
19	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	11	11.6	10	11.0
20	精 密 機 械 器 具 製 造 業	1	1.1		
21	そ の 他 の 製 造 業	10	10.5	2	2.2
23	建 設 業		—		—
27	卸 売 業 、 小 売 業		—	2	2.2
28	教育、学術研究、専門・技術サービス業	9	9.5	7	7.7
24	協 同 組 合 ・ 団 体	4	4.2		—
29	医 療 ・ 福 祉	2	2.1		—
30	そ の 他		—	8	8.8
合 計		95	100.0	91	100.0

(5) 現地指導

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
(株) カネカ	特許に係る歩行分析の 最新技術動向	(株) カネカ	1	1	令和6年4月19日
(公財) 中国地域 創造研究センター	質感色感研究会 全体研究会 (2回) 感性サロン	エディオンビ ースウイング 広島など	3	1	令和6年5月27日 令和6年10月11日 令和7年3月11日
(株) サンヨーコ ーポレーション	現地指導製品のユーザ ビリティ調査	(株) サンヨ ーコーポレー ション	2	1	令和6年6月6日 令和6年9月20日
(公財) 中国地域 創造研究センター	質感色感研究会 個別 検討会	広島国際大学 黒瀬キャンパ ス	1	1	令和6年6月18日
宮島町商工会	宮島特産品振興大会審 査、表彰式	廿日市市	2	2	令和6年10月11日 令和6年11月3日

5 技術移転事業

(1) 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー

- 開催日：呉 令和6年11月12日（火）
東広島 令和6年11月19日（火）
- 開催方法：センター見学・体験 西部工業技術センター本所・生産技術アカデミー
- 参加人数：82名
- 開催内容：センターの研究成果並びに保有技術及び設備について紹介
- プログラム
 - (1) 西部工業技術センター（呉）の研究成果・保有技術の紹介 ～ 6テーマ
 - ①金属材料物性の計算技術の紹介（加工技術研究部）
 - ②高温状態の強度計測技術の紹介（加工技術研究部）
 - ③ワンショット非接触形状測定技術の紹介（加工技術研究部）
 - ④プラスチックの射出成形機の紹介（材料技術研究部）
 - ⑤ハイスピードカメラによる衝撃試験の破壊現象の観察（材料技術研究部）
 - ⑥赤外分光分析装置を利用した成分分析技術の紹介（材料技術研究部）
 - ⑦個別相談（希望者のみ）（技術支援部、材料技術研究部、加工技術研究部）
 - (2) 生産技術アカデミー（東広島）の研究成果・保有技術の紹介 ～ 6テーマ
 - ⑧DXの取り組みの紹介（DX推進担当）
 - ⑨CAD・CAEの活用事例の紹介（生産システム研究部）
 - ⑩レーザー加工システム・評価機器の紹介（生産システム研究部）
 - ⑪リバーエンジニアリングの紹介（生産システム研究部、DX推進担当）
 - ⑫医療機器やヘルスケア製品のデザイン支援事例紹介（製品設計研究部）
 - ⑬ナノメートル分解能で材料分析できる機器紹介（製品設計研究部）
 - ⑭個別相談（希望者のみ）（技術支援担当、製品設計研究部、生産システム研究部）

(2) 研究成果の公表

① 投 稿

No.	テーマ名	氏 名	学協会・誌名等
1	「実車による断熱性能評価技術の検証」	棗田洋平、長谷川浩治、 岩谷稔、筒本隆博	JETI、2024、Vol. 72、6 月 号 p. 48-50
2	広島県立総合技術研究所 西部工業技術セ ンターのご紹介 ～新加熱方式の企業支援事例～	長岡孝、池田裕朗	工業加熱、2024、Vol. 61、 No. 4 7 月 p. 29
3	特集「大型放射光施設 SPring-8 における構 造解析技術の最前線」企画にあたって	鈴木賢紀、川西咲子、竹 田修、佐々木秀顕、永井 崇、田辺栄司	まてりあ、2024、63 巻、7 号、p. 450-451
4	Macroporous Structures of Nb-SnO ₂ Particles as a Catalyst Support Induce High Porosity and Performance in Polymer Electrolyte Fuel Cell Catalyst Layers	Tomoyuki Hirano, Takama Tsuboi, Thi Thanh Nguyen Ho, Eishi Tanabe, Aoi Takano, Mikihiro Kataoka, Takashi Ogi	Nano Lett. 2024, 24, 34, 10426-10433
5	加圧鋳造におけるアルミニウム合金と金型 間の熱伝達係数に及ぼす加圧力の影響	寺山朗、府山伸行、筒本 隆博、志賀英俊、神戸洋 史、岡根利光、吉田誠	鋳造工学、2024、96 巻、 9 号、 p. 471-479
6	Facilitating Gas Accessibility via Macropore Engineering in Amine-Loaded Silica Particles for Enhanced CO ₂ Adsorption Performance	Tung Van Pham, Tomoyuki Hirano, Kiet Le Anh Cao, Eka Lutfi Septiani, Eishi Tanabe, Takashi Ogi	Energy Fuels 2024, 38, 17, 16743-16755
7	目視計測技能のデジタル化～画像処理による 硬さ試験の自動化～	藤本直也	日本鋳造工学会 中四国支 部会報こしき、2024、47 号、 p. 53
8	Gamma-ray-induced modification of poly(ethylene terephthalate) and polypropylene solid materials with halogen-containing olefins for X-ray CT image contrast enhancement	Toshimi Nakaya, Daiji Katsura, Keigo Kawakami, Kenji Komaguchi, Yohei Adachi, Eishi Tanabe, Joji Ohshita	Journal of Applied Polymer Science, Volume141, Issue40、 October 20, 2024, e56022

No.	テーマ名	氏 名	学協会・誌名等
9	「プラスチック資源循環」特集 マテリアルリサイクルにおける機械的物性再生技術の開発	佐川洋行、西田裕紀	JETI、2024、Vol.72、11月号、p.58-61
10	高強度アルミニウムボルトの塑性加工プロセスと組織制御技術の開発	森下勇樹、下川慎也	プレス技術、62巻、13号、(2024)、p.40-43
11	2024年産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会素形材分科会報告	藤本直也	素形材、2025、66巻、1号、p.38-41
12	技術で平和を支えた、呉工業試験所（S24～S59）	府山伸行	鑄造工学、2025、97巻、3号、p.190-192
13	Enhancing CO oxidation performance by controlling the interconnected pore structure in porous three-way catalyst particles	Duhaul Biqal Kautsar, Phong Hoai Le, Ai Ando, Eishi Tanabe, Kiet Le Anh Cao, Eka Lutfi Septiani, Tomoyuki Hirano, Takashi Ogi	Nanoscale, 2025, 17, 2841-2851
14	Design and internal structure analysis of submicron aggregated and porous three-way catalyst particles synthesized via spray drying for enhanced CO conversion	Ai Ando, Tomoyuki Hirano, Kiet Le Anh Cao, Eka Lutfi Septiani, Eishi Tanabe, Risti Ragadhita, Asep Bayu Dani Nandiyanto, Takashi Ogi	Journal of Colloid and Interface Science、Volume 686, 15 May 2025, Pages 277-288
15	擦り傷から透明プラスチックを守る CVD コーティング技術	小島洋治	プラスチック（日刊工業新聞社）6、2025、p.86-89
16	公設試験研究機関における人間工学の課題	横山詔常	人間工学、2024、60巻、3号、p.168-171

② 口頭発表等

No.	テーマ名	氏 名 (○:発表者)	場 所 (学協会等)	発 表 日
1	Oyster in Japan: Variety and Digitalization	○K. Tomokuni	Innovative City Osaka Lab. Center for Advanced Research and Education Osaka Metropolitan University, Graduate School of Business Japan-Australia International Symposium Exploring the Frontiers of Blockchain Research : The future of primary product supply chains	R 6 . 4 . 2 0
2	牡蠣真珠層の PFIB-TOF-SIMS 解析	○田辺栄司、友國慶子、佐々木憲吾	日本顕微鏡学会第 80 回学術講演会	R6. 6. 3-4
3	人間工学に取り組む企業・研究室の紹介	○佃五月、境薫、仲谷尚郁、大島浩幸、平田一郎、乗野晃希、横山詔常、石橋基範、下村義弘、吉武良治	日本人間工学会第 65 回全国大会	R 6 . 6 . 2 3
4	Microstructure and PFIB-TOF-SIMS spectra of oyster nacre by production sea area	○E. Tanabe, K. Tomokuni, K. Sasakil, E. Sukedai	14th Polish-Japanese Joint Seminar on Micro and Nano Analysis	R 6 . 9 . 4
5	電圧降下の大きさを直感的に理解できる電圧計の作製	○上月具孝、小林寛、田辺栄司、縄稚典生、寺重隆視	日本物理学会第 79 年次大会	R 6 . 9 . 1 7
6	ポリカーボネート樹脂の熱/水分劣化診断に向けた MALDI-TOFMS、熱分解 GC-MS の適用性検討	○小島洋治	産総研主催 分析事例討論会	R6. 10. 15
7	広島県産牡蠣殻粉末を用いた複合材料の機械的特性に及ぼす添加量の影響	○西田裕紀、丸本翼	69ht FRP CON-EX2024	R6. 10. 17

No.	テーマ名	氏 名 (○:発表者)	場 所 (学協会等)	発 表 日
8	広島県立総合技術研究所における歩行研究のあゆみ	○横山詔常	第 24 回医療福祉技術シンポジウム	R6.10.21
9	ポリカーボネート樹脂の高温多湿環境下における劣化評価方法の検討と劣化挙動の把握	○小島洋治、菅坂義和、宗綱洋人	第 29 回高分子分析討論会	R6.10.31
10	水産業の課題解決事例とスタートアップ企業による社会実装にむけて III 広島県の取り組み	○友國慶子	北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 大阪公立大学養殖場高度化推進研究センター 合同学術講演会 (口頭、ポスター発表)	R6.11.23
11	射出成形品に匹敵する強度を有する 3D プリンタ造形品の作製	○丸本翼、西田裕紀、円子春菜、掛端康成	第 32 回プラスチック成形加工学会	R6.11.28
12	樹脂表面を擦り傷から守るプラズマ CVD コーティング	○小島洋治	科学技術振興機構 ものづくり技術～中国地域公設試～ 新技術説明会 (オンライン)	R6.12.5
13	ライトストライク作動時における火災報知器の誤作動防止対策	○小田七海、信長凜、島根輝弥、小島洋治、貞井俊平、上月具挙	第 72 回応用物理学会春季学術講演会	R7.3.14
14	ポリカーボネート樹脂の耐紫外線性能向上のためのプラズマ CVD 法による酸化亜鉛製膜の検討	○小島洋治	応用物理学会 第 72 回春季学術講演会	R7.3.17

(3) 工業所有権

① 権利が確定した工業所有権（令和6年4月1日現在）

整理番号	登録番号	発明の名称	出願人	発明者*	登録年月日
52	特許 4941910	鉤型手動利器及びそのグリップアタッチメント	広島県 (有)ウド・エルゴ研究所	横山詔常、岡野 仁 中村幸司、橋本晃司 古川 昇、越智資泰 今井俊治	H24. 3. 9
68	特許 5309288	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	広島県 埼玉大学	西川隆敏、菊田敬一 岡野 仁、山下弘之	H25. 7. 12
69	特許 5610265 (US9121090B2)	樹脂成形体	広島県 ダイキョーニシカワ (株)	小島洋治、縄稚典生 山本 晃	H26. 9. 12 (H27. 9. 1)
73	特許 5678432	樹脂粘度測定方法及び樹脂粘度測定装置	広島県	佐々木憲吾、田平公孝 大橋俊彦	H27. 1. 16
83	特許 5804367	加工誤差予測方法、加工誤差予測装置、工具経路修正方法及び工具経路修正装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H27. 9. 11
89	特許 5967834	樹脂成形用金型、該樹脂成形用金型の製造方法及び樹脂成形品の製造方法	広島県 (株)積層金型	松葉 朗、藤井敏男 池田慎哉、西田裕紀	H28. 7. 15
100	特許 6176617	加工誤差予測方法、プログラムおよび加工誤差予測装置	広島県	西川隆敏、菊田敬一 筒本隆博	H29. 7. 21
102	特許 6300211 (6317052)	採材支援装置および制御プログラム	広島県	佐野 誠、古本浩章 小玉 龍、佐野俊和 山場淳史	H30. 3. 9 (H30. 4. 6)
104	特許 6284129	コンプライアンスデバイス	広島県	安部重毅、藤原義也 岡野 仁、倉本丈久 大賀 誠	H30. 2. 9
106	特許 6644298	歩行データ取得装置および歩行データ取得システム	広島県 県立広島大学	横山詔常、弓場憲生 小玉 龍、門藤至宏	R2. 1. 10
107	特許 6732245	細胞培養装置	広島県 (株)ツーセル (株)スペースバイオラボラトリーズ	尾形康弘	R2. 7. 10
108	特許 6742614	水産物養殖用トレー及びそれを積層した水産物養殖用トレー積層体	広島県 かなわ水産(株) 大下産業(株)	佐々木憲吾、友國慶子	R2. 7. 31
109 130	特許 6795812 (7018616)	アルミ合金製ボルト	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹、府山伸行	R2. 11. 17 (R4. 2. 3)
110	特許 6316997	びびり振動回避装置、びびり振動回避プログラム、およびびびり振動回避装置の制御方法	広島県	西川隆敏、菊田敬一	H30. 4. 6
111	特許 6664746	歩行評価システムおよび歩行評価システムの作動方法	広島県 県立広島大学	横山詔常、橋本晃司 小玉 龍、弓場憲生	R2. 2. 21

整理番号	登録番号	発明の名称	出 願 人	発 明 者※	登録年月日
112	特 許 6452874	金属加工装置、ロボット、及び 金属加工方法	広島県	安部重毅、岡野 仁 岩谷 稔	H30. 12. 21
113	特 許 7138868	測温センサピン及びそれを備 える測温センサ	広島県 芝浦機械(株)	寺山 朗、府山伸行 大石 郁	R4. 9. 9
114	特 許 7106073	熱伝導率測定装置及び熱伝導 率測定方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治 羽原雄太	R4. 7. 15
115	特 許 7094509	情報処理装置、制御プログラム 及び情報処理方法	広島県	姫宮一輝、西川隆敏	R4. 6. 24
117	特 許 7231152	二枚貝開殻方法及び装置	広島県 三工電機(株)	友國慶子	R5 2. 20
118	特 許 7403109	アルミニウム合金製ボルトお よびその製造方法	広島県 松本重工業(株)	森下勇樹、府山伸行	R5. 12. 14
119	特 許 7297215	演算装置、演算処理プログラ ム、および演算方法	広島県	田平公孝、佐々木憲吾 後藤孝文	R5. 6. 16
123	特 許 7531799	レーザ溶着装置及びレーザ溶 着方法	国立大学法人広 島大学 (株)ジェイ・エ ム・エス	門 格史、藤井 宏 大石 郁、小島洋治	R6. 8. 2
124	特 許 7538501	金属加工装置及び金属加工方 法	広島県	安部重毅、岡野 仁、 岩谷 稔	R6. 8. 14
128	特 許 7324445	廃棄鉄系金属粉末・廃棄プラス チック成形体及びその製造方 法	広島県 NP0法人広島循環 型社会推進機構	武田正良	R5. 8. 12
129	特 許 7403109	アルミニウム合金製ボルトお よびその製造方法	広島県 松本重工業	森下勇樹、府山伸行	R4. 2. 3
131	特 許 7594756	解析装置、制御プログラムおよ び解析方法	広島県	寺山 朗、府山伸行	R6. 11. 27
133	特 許 7575741	牡蠣むき身装置	広島県 三工電機 (株)	友國慶子、安部重毅 佐々木憲吾	R6. 10. 22
134	特 許 7616564	熱貫流率測定装置及び方法	広島県	筒本隆博、長谷川浩治 末村紘志	R7. 1. 8
135	特 許 7575742	牡蠣むき身装置	広島県 三工電機 (株)	友國慶子、佐々木憲吾	R6. 10. 22
139	特 許 7094509	情報処理装置、制御プログラム および情報処理装置	広島県	姫宮一輝、西川隆敏	R6. 2. 24

整理番号	登録番号	発明の名称	出 願 人	発 明 者※	登録年月日
136	特 許 7630115	管状体の結束具及び魚介類養殖用の浮体	広島県 大下産業(株) 三井化学産資(株)	友國慶子、佐々木憲吾	R3. 3. 30
138	特 許 7595860	レーザ接合方法及びレーザ接合成形体	広島県 広島大学 (株)ジェイ・エム・エス	門 格史	R3. 5. 17
141	特 許 7633615	レーザ溶接方法およびレーザ溶接装置	広島県 デルタ工業(株) 広島大学	門 格史	R3. 9. 22

※ 広島県関係者のみ記載

② 出願している工業所有権

・ 公開案件

整理番号	公開番号	発明の名称	出 願 人	発 明 者※	出願年月日
132	特 開 2022-151646	推定装置、シミュレーション装置、制御プログラム、データセットおよび推定方法	広島県	寺山 朗、筒本隆博	R4. 2. 21
137	特 開 2022-176492	レーザ接合方法及びレーザ接合成形体	広島県 広島大学 (株)ジェイ・エム・エス	門 格史	R3 5. 17
140	特 開 2023-155681	予測システム、予測方法、予測装置、学習装置、プログラム、学習済みモデル	広島県 (株)カネカ 県立広島大学	横山詔常、小玉 龍 友國慶子	R4. 4. 11
142	特 開 2023-064812	筏モジュール及びプレハブ式ポリエチレン製浮体筏	広島県 大下産業(株) 三井化学産資(株)	横山詔常、佐々木憲吾 友國慶子	R3. 10. 27
144	特 開 2023-158801	魚介類プロファイリングシステム、その方法、プログラム及び学習済みモデル	広島県 大阪公立大学	友國慶子、横山詔常 後藤孝文	R4. 4. 19

※ 広島県関係者のみ記載

・ 未公開案件

国内特許 4 件（内、令和 6 年度出願 1 件）

(4) 広報活動

① 技術情報提供等の実施状況

区 分		実施状況 (発行部数等)
発 行 図 書 類	事 業 概 要	HP に 掲 載
	研 究 報 告 (第 65 号)	
	業 務 年 報	
施 設 設 備 の 公 開	見学者数 (名)	1 5 7

② 新聞報道等の状況

No.	報 道 等 見 出 し	報道機関名	発行日
1	かきパイプの生分解性樹脂化	広 島 ホ ー ム テ レ ビ	R6. 6. 12
2	瀬戸内海という共有資源を中心に、広島県内外の企業が連携する 海洋プラごみ対策を軸としたサーキュラーエコノミー	サーキュラーパ ー ト ナ ー ズ	R6. 8. 27
3	中国地域公設試功績者の表彰式	日 刊 工 業 新 聞	R6. 11. 27

6 人材育成事業

(1) 技術者研修

①電気めっき勉強会（令和6年度第3回広島表面处理技術研究会）

- ・ 参加者：26名（8社）
- ・ 期 間：令和6年6月22日
- ・ 場 所：西部工業技術センター 呉市阿賀南二丁目10-1
- ・ 概 要：湿式表面处理に関わる基礎技術の習得を目的として研修を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	1) オリエンテーション 2) 試薬など実習での危険防止について 3) 化学分析及びハルセルについて	1	本多 正英 宗綱 洋人
実技	N i - C r めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	Z n めっき	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也
実技	ハルセルテスト、めっき液分析	2	本多 正英 宗綱 洋人 杉原 正洋 坂田 拓也

② プラスチック材料技術者研修

- ・ 参加者：7名（5社）
- ・ 期 間：令和6年7月24日
- ・ 場 所：西部工業技術センター 呉市阿賀南二丁目10-1
- ・ 概 要：プラスチック材料及び成形に関わる基礎技術の習得を目的として座学と実習を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座 学 質疑応答 終了式	プラスチック材料の基礎	2	西田 裕紀
実習①	射出成形機の見学	0.5	丸本 翼
実習②	赤外分光分析・電子顕微鏡観察 強度試験	2.5	小島 洋治 菅坂 義和 宗綱 洋人 佐川 洋行 丸本 翼

③材料理論研修

- ・共 催：ひろしまデジタルイノベーションセンター、
広島大学デジタルものづくり教育研究センター・スマート蓄電池システム開発プロジェクト
- ・参加者：18名（12団体）
- ・期 間：令和6年9月19日
- ・場 所：生産技術アカデミー 東広島市鏡山三丁目 13-26
- ・概 要：プレス成形解析に必要な材料物性についての解説と測定の実習を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	プレス成形解析に必要な材料物性	2	大川 正巳
実習	引張試験 穴広げ試験 FLD 試験	2	大川 正巳 森下 勇樹 兵藤 一志
実習	寸法計測	1	安部 重毅 久保田 将矢

④予実差評価研修

- ・共 催：ひろしまデジタルイノベーションセンター、広島大学デジタルものづくり教育研究センター・スマート蓄電池システム開発プロジェクト
- ・参加者：22名（15団体）
- ・期 間：令和6年12月12日
- ・場 所：生産技術アカデミー 東広島市鏡山三丁目 13-26
- ・概 要：成形解析による予測と実成形品を比較し、材料モデルの違いによる解析精度への影響を理解するため、座学と実習を行いました。

（研修カリキュラム）

区分	内 容	時間	講 師
座学	成形解析結果に及ぼす材料モデルの影響	1	森下 勇樹
実習	プレス成形実験 成形品の形状測定 成形品のひずみ測定	2	森下 勇樹 大川 正巳 兵藤 一志 佐々木 憲吾
座学	実験と解析の比較評価	1.5	森下 勇樹 安部 重毅

⑤プレス研修

- ・共 催：
- ・参加者：広島大学デジタルものづくり教育研究センター・スマート蓄電池システム開発プロジェクト コンソーシアム企業 7名（2団体）
- ・期 間：令和7年3月18日
- ・場 所：プレス加工委託先企業
- ・概 要：プレス成形条件を変更しつつ、ハット曲げと角筒深絞りを研修参加者の前で行い、不具合への効果を確認しました。

(研修カリキュラム)

区分	内 容	時間	講 師
実習	複数条件でのハット曲げの実成形	3	安部 重毅 大川 正巳 森下 勇樹 兵藤 一志
実習	複数条件での角筒しぼりの実成形	3	安部 重毅 大川 正巳 森下 勇樹 兵藤 一志

(2) 企業等研究員受入制度

業 種	企業数	人・日
化 学 工 業	1	1
合 計	1	1

7 産学官交流事業

(1) 研究会活動

研究会	内 容	場 所	開催日	参加者
広島県 AI・IoT・ ロボティクス 活用研究会	講演 1 昨今の女子大生の就活が想像以上にあれな件 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 野田 哲男 教授 人口減少、ダイバーシティ&インクルージョンで様々なものが激変、及び、じわじわ変化しつつある。最新動向を含む業界の盛衰、技術と理論の盛衰、自分の研究開発でうまく行ったこと行かなかったこと、就活など昨今の学生の行動などから、研究開発・採用活動・人材育成に関して、様々な経験のもとでの気づきを共有し議論する。 講演 2 外観検査の開発経緯と機能・実績の紹介 高木デルタ化工株式会社 製造部 係長 向井 司 氏 弊社では生産の約 4 割を画像検査システムで品質保証しています。本研究発表会では、画像検査システム開発に至った経緯、機能、検査実績、効果、並びに展開方式をご紹介します。 講演 3 生産現場のデジタル化に向けた支援基盤の構築の取組事例 生産技術アカデミー 次長 村河 亮利 生産現場での AI・IoT 等の活用効果を容易に評価できるテスト環境を提供し、デジタル技術の導入を支援する取組を紹介します。	生産技術アカデミー	令和 6 年 12 月 25 日	11 名

(2) 他機関との連携・支援

① 公設試等連絡会議

(産業技術連携推進会議)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
ライフサイエンス部会 デザイン分科会	福井県	橋本 晃司 富田 佳央	R6. 6. 15～16
ナノテクノロジー・材料部会 素形材分科会	愛知県 オンライン開催	藤本 直也	R6. 6. 19～20
情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 17 回音・振動研究会	島根県 ハイブリッド開催	岩谷 稔	R6. 10. 17～18
ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 人間生活工学研究会	埼玉県	横山 詔常	R6. 10. 22
情報通信・エレクトロニクス部会 第 17 回電子技術分科会 高機能材料デバイス研究会	大阪府	久保 雅之	R6. 10. 24～25
ライフサイエンス部会 デザイン分科会 研究発表会	宮崎県 オンライン開催	橋本 晃司 富田 佳央 横山 詔常	R6. 10. 25
知的基盤部会 電磁環境分科会 EMC 研究会	米子市	内山 陽介	R6. 11. 7～ 8
中国地域部会中国地域連携推進企画分科会 感性創造 3D ものづくり研究会	鳥取県	富田 佳央	R6. 11. 18～19
製造プロセス部会 第 30 回表面技術分科会 第 10 回 DLC 技術研究会	岡山県	樋口 浩一	R6. 11. 28～29
産技連 第 62 回 高分子分科会	北海道	佐川 洋行	R6. 11. 28～29
知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会	大分県 ハイブリッド開催	長谷川浩治 棗田 洋平	R6. 12. 12～13
中国地域部会 機械・金属技術分科会	広島市	森下 勇樹	R6. 12. 20
中国地域部会・四国地域部会 合同 環境・エネルギー技術分科会	オンライン開催	宗綱 洋人	R7. 1. 24

(その他)

会 議 名	場 所	出席者	開催日
スマート検査・モニタリング共創コンソーシアム 全体 Web 会議	オンライン開催	長谷川浩治 岩谷 稔	R 6 . 6 . 2 5 R 7 . 2 . 2 8
令和 6 年度 ひろしま自動車産学官連携推進会議	ハイブリッド開催	山本 晃 藤井 敏男 長谷川浩治	R 6 . 5 . 1 5 R 7 . 2 . 2 5

② その他の業務による派遣

派遣先機関		内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島県	ひろしま感性イノベーション推進協議会	企画運営委員会	書 面 開 催 広 島 市	2	1	R6. 11. 20 R7. 2. 26
		感性に係る地域連携会議	広 島 市	1	1	R7. 2. 3
		専門家派遣	広 島 市	7	10	R6. 7. 11 R6. 8. 8 R6. 8. 22 R6. 9. 12 R6. 9. 26 R7. 1. 30 R7. 2. 25
(株)広島テクノプラザ		広島県 EMC 研究会	東 広 島 市	7	15	R6. 6. 5 R6. 7. 10 R6. 9. 11 R6. 10. 9 R6. 11. 13 R6. 12. 4 R7. 2. 19
		広島県音振動技術研究会	東 広 島 市	6	14	R6. 5. 13 R6. 7. 9 R6. 10. 15 R6. 11. 27 R6. 12. 4 R7. 2. 13
(公財)中国地域創造研究センター		中国地域質感色感研究会	広 島 市	3	3	R6. 5. 27 R6. 10. 11 R7. 3. 11

派遣先機関	内 容	場 所	回数	派遣者数 (人日)	派遣日
広島経済同友会 ひろしまデジタル イノベーションセンター	デジタルものづくり塾	オンライン開催 H D I C 開催	18	18	R6. 6. 21 R6. 6. 26 R6. 7. 11 R6. 7. 12 R6. 7. 16 R6. 7. 17 R6. 7. 18 R6. 7. 23 R6. 7. 25 R6. 8. 29 R6. 9. 25 R6. 10. 23 R6. 11. 7 R6. 12. 4 R7. 1. 10 R7. 1. 14 R7. 1. 29 R7. 2. 5
ひろしまデジタル イノベーションセンター	鋳造CAE研修（初級）	オンライン開催 H D I C 開催	9	18	R6. 7. 3 R6. 7. 31 R6. 9. 4 R6. 10. 2 R6. 11. 8 R6. 12. 4 R7. 1. 8 R7. 2. 5 R7. 3. 5
九 州 大 学	講義「人間工学概論」	九 州 大 学 大橋キャンパス	1	1	R6. 5. 30

8 その他

(1) 職員研修

研修課程	場 所	研修者	期 間
EMC 開発革新に向けた共創活動	ひろしまデジタルイノベーションセンター	内山 洋介 石田 大騎 宮野 忠文	R6. 5. 23 R6. 6. 20 R6. 7. 18 R6. 8. 22 R6. 9. 19 R6. 10. 17 R6. 11. 21 R6. 12. 19 R7. 1. 23 R7. 2. 20 R7. 3. 19
「実例に基づいたプラスチック・ゴムの事故・トラブル発生防止と対策」講座	松江	貞井 俊平	R6. 7. 18
廃プラスチックの最新リサイクル技術の動向セミナー	WEB セミナー	佐川 洋行	R6. 8. 28
実験計画法・ベイズ最適化を用いた効率的な実験デザイン	WEB セミナー	杉原 正洋	R6. 5. 8～21
自動車リサイクルの日本および世界の現状と今後のリサイクル戦略	WEB セミナー	佐川 洋行	R6. 12. 12
プラスチック射出成形過程の可視化とソリ変形予測技術	WEB セミナー	丸本 翼	R7. 1. 24
グローバル消費インテリジェンス寄附講座 2024 Winter	オンライン開催	藤井 敏男 宮野 忠文 友國 慶子 杉原 正洋	R6. 10. 8 ～R7. 1. 21
高分子劣化のメカニズムと添加剤による対策や材料分析技術	WEB セミナー	佐川 洋行	R7. 3. 17
入門：シーケンサ	三菱電機㈱ 広島 FA テクニカルセンター	兵藤 一志	R6. 5. 8
基礎：MELSRC iQ-F プログラミング (GX Works3 版)	三菱電機㈱ 広島 FA テクニカルセンター	兵藤 一志	R6. 5. 14～15
産業用ロボット 教示等特別教育	㈱安川電機 小倉事業所	兵藤 一志	R6. 7. 16～17
MELSEC-F 位置決め	三菱電機㈱ 大阪 FA テクニカルセンター	兵藤 一志	R6. 9. 10～11
デジタルものづくり塾 ロボットプログラム	ひろしまデジタルイノベーションセンター	安部 重毅 兵藤 一志	R6. 5. 14 ～R7. 2. 4
メカニズム設計概要と発想の素実習（リンク・カム）	高度ポリテクセンター	安部 重毅	R6. 12. 19～20
広島大学「バイオデザイン概論Ⅰ」	オンデマンド	富田 佳央	R6. 4. 12 R6. 4. 26 R6. 5. 10

研修課程	場 所	研修者	期 間
			R6. 5. 24 R6. 6. 7 R6. 6. 21 R6. 7. 2 R6. 7. 9
広島大学「バイオデザイン概論Ⅱ」	オンデマンド	富田 佳央	R6. 10. 11 R6. 10. 25 R6. 11. 8 R6. 11. 19 R6. 12. 6 R6. 12. 10 R7. 1. 10 R7. 1. 24
広島大学「バイオデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」	広島大学	富田 佳央	R6. 8. 26～30 R6. 11. 11～15
ロボットスクール スキルアップコース ハンドリングコース	(株)安川電機 八幡事業所	石田 大騎	R6. 7. 30～31
化学物質管理者研修	中国四国安全衛生サービスセンター	森下 勇樹	R6. 5. 28
LMP シンポジウム 2025	オンライン	久保田将矢	R7. 3. 4～ 5
産業用ロボット特別安全教育	ダイヘン六甲事業所	森下 勇樹	R6. 12. 3～ 4
ディープラーニングによる正常・異常検知 技術（セグメンテーション編）	高度ポリテクセンター	坂本 一真	R6. 9. 18～20
実習・組み込みリアルタイム OSFreeRTOS 「超」入門セミナー	CQ 出版	問山 清和	R6. 8. 4
生産設備における機械周りのノイズ対策	高度ポリテクセンター	坂本 一真	R7. 3. 18～19
組み込みマイコンの TCP/IP 通信技術セミナー	高度ポリテクセンター	問山 清和	R7. 2. 27～28
スマホアプリ開発研修	サテライト型オフィス H1T 大手町	久保田将矢 坂本 一真	R6. 7. 8～ 9

(2) 受賞等

賞 名	受 賞 者	主催団体	受賞日
中四国支部 2024 年度表彰 片 島 賞	寺山 朗	日本鑄造工学会 中四国支部	R6. 4. 24
中国地域公設試験研究機関 功 績 者 表 彰 特 別 賞	藤井 敏男	公益財団法人 中国地域創造 研究センター	R6. 11. 26
ものづくり現場力革新大会 実 践 優 秀 賞	安部 重毅 兵藤 一志	広島経済同友会 ものづくり委員会	R7. 3. 25

付 録

(1) 令和6年度の主な行事等

(日 付)	(主な行事等)	(場 所)
令和6年		
6月22日	技術者勉強会「電気めっき勉強会」	西部工業技術 C
7月24日	技術者研修「プラスチック材料技術者研修」	西部工業技術 C
12月25日	広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会 「第1回研究会」	生産技術アカデミー
11月12日 11月19日	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 保有技術紹介セミナー（センター見学・体験会）	西部工業技術 C 生産技術アカデミー

(2) 沿 革

(年 月)	(主 な で き ご と)
昭和24年 (1949)	4月 呉市公園通六丁目に広島県立呉工業試験場の設立決定 11月 広島県立呉工業試験場を設立し、機械科、金属科の2科を設置
昭和25年 (1950)	9月 庶務係を新設、金属科を金属第1科、金属第2科に改組
昭和26年 (1951)	2月 鋳造実験室・溶解場を新築（昭和42年2月撤去）
昭和29年 (1954)	8月 鋳造科、工業化学科を新設
昭和34年 (1959)	8月 化学試験室を新築
昭和38年 (1963)	1月 鋳造実験室を新築
昭和39年 (1964)	4月 福山市沖野上町に福山支場を新設 11月 化学試験室にプラスチック開放試験室を増設
昭和40年 (1965)	4月 広島県立窯業試験場を広島県立呉工業試験場竹原支場に改称 5月 福山支場庁舎を山手町に新築移転
昭和42年 (1967)	4月 金属第1科を金属科に改称、金属第2科を廃止し、溶接科、金属化学科を新設
昭和43年 (1968)	3月 本場の本館鉄筋コンクリート造3階建及び鉄骨平屋実験棟を新築 6月 竹原支場を廃止し、本場に窯業科を設置
昭和46年 (1971)	4月 機構改革により科制を廃止し、総務部、公害研究室、機械部、金属部、化学部、福山支場の4部、1室、1支場体制
昭和57年 (1982)	4月 公害研究室をエネルギー対策室に、機械部を機械電子部に改組
昭和59年 (1984)	3月 熱処理実験室内に炭素繊維応用加工技術開放試験室を新設 4月 広島県立西部工業技術センターに改称し、企画管理部、エネルギー対策室、システム開発部、金属加工部、応用化学部及び福山支所の4部、1室、1支所体制
昭和60年 (1985)	3月 敷地内に(財)広島県産業技術振興機構のフロンティア技術センターを新設 3月 炭素繊維応用加工技術開放試験室を増設
昭和62年 (1987)	4月 福山支所が広島県立東部工業技術センターに統合される
昭和63年 (1988)	4月 エネルギー対策室を資源開発部に改組
平成 3年 (1991)	10月 呉市阿賀南二丁目10-1で新庁舎の起工式を実施
平成 5年 (1993)	3月 新庁舎完成、移転完了 4月 企画管理部、情報技術部、材料技術部、生産技術部、システム技術部、資源環境技術部の6部体制
平成11年 (1999)	4月 生産技術アカデミー設計部門を開所して、システム技術部を廃止し、生産技術部を応用加工技術部に、資源環境部を資源環境技術部に改組
平成13年 (2001)	4月 生産技術アカデミー新庁舎完成・開所 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センターとなる 東部及び西部工業技術センターの情報技術部と東部工業技術センターの産業デザイン部を生産技術アカデミーに集約（4研究部体制）
平成19年 (2007)	4月 本 所：総務担当、技術支援部、材料技術研究部、加工技術研究部 生産技術アカデミー：総務担当、技術支援担当、製品設計研究部、生産システム研究部
平成21年 (2009)	4月 本所に炭素繊維プロジェクトチームを設置（～平成30年3月）
平成22年 (2010)	4月 生産技術アカデミーに金型加工プロジェクトチームを設置（～平成25年3月）
平成25年 (2013)	4月 生産技術アカデミーに産業用ロボットプロジェクトチームを設置（～平成28年3月）
令和 2年 (2020)	4月 生産技術アカデミーにDX（デジタルトランスフォーメーション）推進担当を設置

(3) 令和7年度の職員

(令和7年4月1日現在)

(本 所)

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	山 本 晃
	次 長	西 岡 賢 一
	次 長	府 山 伸 行
総務担当	主 幹	西 原 久 人
	主任 (エルダースタッフ)	北 野 智 之
	主任 (エルダースタッフ)	横 手 克 尚
技術支援部	(兼) 部 長	府 山 伸 行
	担当部長 (営業担当)	宗 綱 洋 人
	主任研究員 (シニアスタッフ)	藤 井 敏 男
	主 任 研 究 員	河 野 洋 輔
	主 任 研 究 員	井 鷲 洋 介
材料技術研究部	部 長	田 平 公 孝
	総 括 研 究 員	本 多 正 英
	副 部 長	小 島 洋 治
	副 部 長	大 川 正 巳
	主 任 研 究 員	菅 坂 義 和
	主 任 研 究 員	山 本 健
	主 任 研 究 員	杉 原 正 洋
	主 任 研 究 員	坂 田 拓 也
	研 究 員	佐 川 洋 行
	研 究 員	丸 本 翼
	研 究 員	貞 井 俊 平
	研 究 員	廣 川 新 之 助
加工技術研究部	部 長	松 永 尚 徳
	担 当 部 長	長 谷 川 浩 治
	副 部 長	寺 山 朗
	主 任 研 究 員	岩 谷 稔
	主 任 研 究 員	棗 田 洋 平
	主 任 研 究 員	末 村 紘 志
	主 任 研 究 員	長 岡 孝
	主 任 研 究 員	久 保 雅 之
	研 究 員	五 重 目 晃 秀
	研 究 員	尾 津 俊 介
	研 究 員	内 山 陽 介

(生産技術アカデミー)

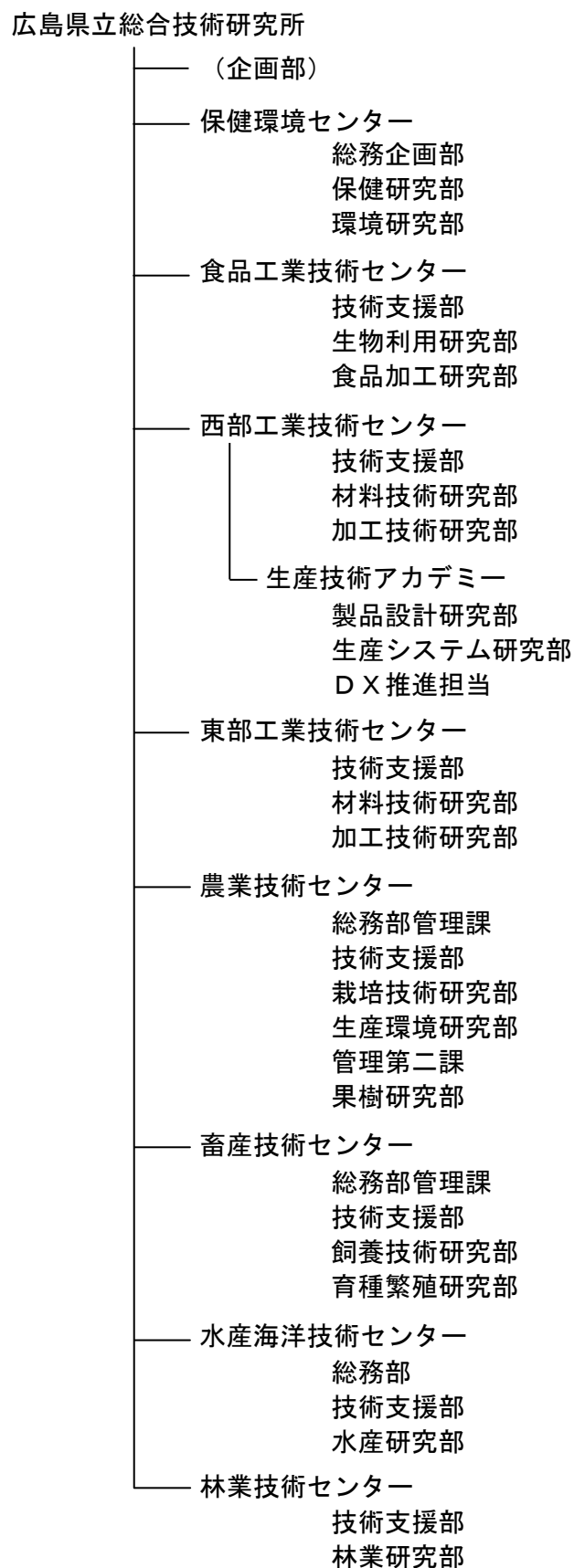
所属	職 名	氏 名
	支 所 長	宮 野 忠 文
	次 長	村 河 亮 利
	主 査	戸 馬 田 晴 之
総務担当	主 任 (エルダースタッフ)	永 末 浩 二
	担当部長 (営業担当)	池 田 裕 朗
技術支援部	主 任 研 究 員	後 藤 孝 文
	部 長	横 山 詔 常
製品設計研究部	担 当 部 長	安 部 重 毅
	副 部 長	友 國 慶 子
	主 任 研 究 員	田 邊 栄 司
	主 任 研 究 員	橋 本 晃 司
	研 究 員	兵 藤 一 志
	研 究 員	富 田 佳 央
	研 究 員	佐 々 木 啓 心
	部 長	門 格 史
生産システム研究部	副 部 長	森 下 勇 樹
	主 任 研 究 員	間 山 清 和
	主 任 研 究 員	前 田 圭 治
	主 任 研 究 員	小 玉 龍
	研究員 (エルダースタッフ)	佐 野 誠
	研 究 員	久 保 田 将 矢
	研 究 員	坂 本 一 真
	担 当 部 長	佐 々 木 憲 吾
DX推進担当	主 任 研 究 員	伊 藤 幸 一

(企業派遣)

—	研 究 員	姫 宮 一 輝
---	-------	---------

人員 58 名 (内、企業派遣 1 名、シニアスタッフ 1 名、エルダースタッフ 4 名)

(4) 広島県立総合技術研究所の組織



令和 7 年 7 月

編集・発行

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター

〒737-0004 呉市阿賀南二丁目10-1

E-mail wkcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

TEL (0823) 74-1151

FAX (0823) 74-1131

広島県 西部工業

検索

